



高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜の確認について

平成30年1月11日、香川県さぬき市内の肉用鶏飼養農場において、今冬初となる高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜（H5亜型）が確認されましたので、お知らせします。

会員各位におかれましては、**野生動物の侵入防止及び畜舎に出入りする際の手指及び靴の消毒、衣類の交換、農場に出入りする車両の消毒など飼養衛生管理基準の遵守、飼養家さんの異状の早期発見・通報等**について、強化・徹底していただくよう、お願いします。

なお、当協会では高病原性鳥インフルエンザ対策本部（本部長 齋藤会長・副本部長 秋田鳥インフルエンザ問題対策委員長）を設置し、皆様からのご相談を事務局にて受付けておりますので、ご相談ください。

<農林水産省 鳥インフルエンザに関する情報>

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/index.html>

<農林水産省 鳥インフルエンザに関するプレリリース>

http://www.maff.go.jp/j/press/syouan/douei/180111_8.html

【日鶏協速報】 発行者：[一般社団法人 日本養鶏協会](#)

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日 2018年1月12日

編集・発行責任者：小田上浩史(info@jpa.or.jp)

